こうほうふらの

ふらの Furano

FURANO CITY PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

特集　平成23年度市政執行方針

地域づくりに市民の英知と創意工夫を結集　2 - 7p

学校読み聞かせクラブ「がくよみ」の取り組み　10 - 11p

【写真】山ぶどうのつるをブランコにして遊ぶ子どもたち
「富良野の自然に親しむ集い」（３月21日・西達布 東京大学北海道演習林）

No.595
4
APRIL　2011

問「市政執行方針」は企画振興課✆39-2304　「教育行政執行方針」は教育委員会✆39-2320　「予算」は財政課✆39-2306

と創意工夫を結集

基本理念は「市民対話」

市政執行方針を述べる能登市長

市政執行方針

私は就任以来6年目を迎え、市民一人ひとりから託された市政への期待を初心にかえり、これまでの実績を礎に「市民対話」を基本理念とし、市民本位の市政実現をめざして、全力で市政運営に取り組んでまいりました。

近年、日本経済を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、地域の経済活動や雇用情勢、都市と地方の地域間格差など、深刻な影響をもたらしております。

また、人口減少や少子高齢化など社会構造の激しい変化、経済のグローバル化、情報通信の高度化、地球規模での厳しい環境・エネルギー・食料制約など諸問題に直面しております。

これら解決すべき課題に対して、適切に対処する必要があります。

地域主権改革が進展する中、自治体の自主・自立を確立する無駄を排除した効率的・効果的な行政システムの構築を図るとともに、地域主権を担う人材づくりを真剣に考えることが必要であります。

地域づくりは市民と連携する協働で進めることが肝要であり、地域リーダー育成など、新たな発想で積極的な参加行動が求められております。

そのため、地域住民が自ら歩んでいく自主・自立の精神で、変革の時代に順応できる豊かな人間性を育む地域づくりをめざして、市民の英知と創意工夫を結集させ、市民誰もが住んでよかったと実感できるまちづくりを進めてまいります。

■基本的な考え方

地域主権型社会が本格化する中で、市民福祉の向上と多様化するニーズに的確に対応したまちづくりの推進とともに、新たな地域発展の可能性を見出し、成長させて行くための取り組みも極めて重要となっております。そのためには、「市民対話と情報の開示」を積極的に進め、市民の行政への信頼を築き、市民の声を聞き市政に反映させる市民本位の開かれた市政運営を信条にまちづくりを進めてまいります。

さらに、住民自治の確立に向けて自助、共助、公助を基本とする補完性の原理による取り組みを推進し、市民と行政の役割をともに考えながら、より一層の市民参加と協働を助長するとともに、その担い手となる地域リーダーなどの人材育成に努めてまいります。

また、自主性と自立性のある地域主権型社会に対応できる職員の育成と行政システムの構築に向けて取り組んでまいります。

■将来を展望する重点施策

①農村観光環境都市の形成

農村観光環境都市づくりは、市民生活を豊かにする糧となり、本市の経済力を高めます。基幹産業である農業、恵まれ

市政執行方針と予算の概要

地域づくりに市民の英知

能登市長は、３月１日（火）に行われた平成23年第１回市議会定例会で市政執行方針を示しました。
述べられた方針を要約しお知らせします。（全文は、市役所市民ロビー、市ホームページなどでご覧になれます）

た地域資源を活用した観光、市民とともに育て上げたごみリサイクルなどの環境への取組み、これらを連携させることから、農業を育て、観光でもてなし、環境を守るまちづくりを推進してまいります。

《主な施策》

・農業の担い手確保育成のための担い手の体系化
・花嫁対策と青年活動活性化
・「北の国から」30周年を契機とした国内外からの通年滞在型観光の推進
・二地域居住や完全移住など情報提供の充実による移住の促進

②地域循環型経済の活性化

恵まれた地域資源の発掘と活用により、地域力を高め、資源の循環で地域経済に活力を育みます。

《主な施策》

・低炭素社会の実現に向けた資源エネルギーの有効利用と大学との連携による森林資源のエネルギー利用の検討
・企業立地促進法に基づく富良野・美瑛地域基本計画による産業集積に向けた情報収集と企業支援などによる新たな雇用創出
・農業、商業、消費者が連携した地域循環による経済活性化と安全で安心な地元農産物の活用による「ふらのブランド」の向上

③中心市街地の活性化

富良野市中心市街地活性化基本計画は、民間活力によるＴＭＯ法人、ふらのまちづくり株式会社が主体となり事業を進めております。昨年の「フラノ・マルシェ」に引き続き、魅力的で利便性に富む新たな生活拠点の創出と市民や観光客の日常的な集いや交流、まちなか回遊で、中心市街地に賑わいの創出を図ってまいります。また、消費者の視点に立った魅力ある商店街の形成に向け、商業振興対策を進めてまいります。

《主な施策》

・東４条街区地区第１種市街地再開発事業によるネーブルタウン構想の実施に向けた支援
・購買活動の実態把握と商店街活性化ソフト事業の見直しや店舗改修の支援検討

④地域が支えあう社会づくり

少子高齢化がもたらす課題を克服するためには、高齢者の安心や子育て支援、子どもたちの育成に積極的に取り組む必要があります。

その基礎となるのが、希薄化した人と人のつながりを取り戻し、家庭や地域で助け合い、支えあう地域コミュニティであります。

家庭や町内会連合会、福祉団体、行政などの関係者、関係団体が連携し、高齢者が健康で生きがいを持ち心から安

心を享受できる地域社会づくりを進めてまいります。

また、子どもは社会の希望、未来の力であり、子育ては親や家庭だけで担うのではなく、地域全体、社会全体で支えていかなければなりません。そのため、子どもたちに郷土富良野への愛着と誇りを育み、次代の富良野の担い手の育成に努めてまいります。

《主な施策》

・コミュニティ活動推進員の増員による地域コミュニティ活動の活性化と福祉ネットワーク構築の助長
・認可保育所の再編など今後の保育行政のあり方の検討
・ブックスタートの導入による家庭での読書環境づくり
・「地球を守るためにできることは何か」をテーマとした環境教育や豊かな心を育てる教育の実践

■総合計画の推進

本年度は「第5次富良野市総合計画」のスタートの年であります。めざす将来像である「安心と希望、協働と活力の大地『ふらの』」は、「市民の暮らしを地域と行政がしっかりと支え、そして富良野の魅力や強みを市民が活かし創造するまちづくり」を基本理念に、誰もが住みなれた地域で安心して暮らし、子どもたちの笑顔があふれ、市民の行動が輝くまちを市民と地域、行政が一体となってめざそうとするものであり、この将来像の実現に向け取り組んでまいります。

教育行政執行方針

教育は人格の完成をめざし、個性を尊重しつつ、個人の能力を伸長し、自立した人材を育成することであり、次代を担う子どもたちにとって、自ら学び自ら考える力の育成、学力の基礎・基本の確実な定着と応用力・活用力の向上を図るとともに、他人を思いやる心、感動する心、命を大切にする心、感謝の心、正義感や公正を重んずる心、さらには自己実現をめざした「生きる力」の育成が大切であります。

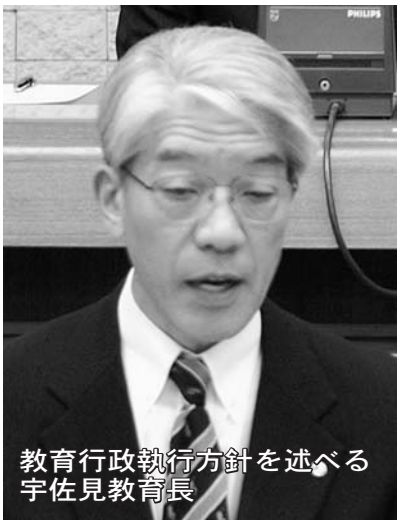
今日、少子高齢化の進行や核家族化、国際化が進展する中で、地球環境問題、エネルギー問題など社会情勢が急激に変化し続けており、教育を取り巻く環境にも大きな影響を与えております。こうした中、地域の教育力を高め、豊かな人間性を培うために、子どもたちの学ぶ意欲や規範意識、道徳心、そして体力の向上など喫緊に対応することが重要であります。

このような時こそ、新しい時代を切り拓き積極果敢に築き上げていく気概を持った人材育成が強く求められております。

そのためには、「第5次富良野市総合計画」を基本とし、教育の原点である「知・徳・体」育の基礎となる食育教育の推進と調和のとれた児童生徒の着実な育成を基本に据え、「すべては子どもたちのために」を合言葉に、それを支える学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たし、相互に連携、協力しながら、子どもたちの無限の可能性を伸ばす学校教育の充実に努めてまいります。

また、学校と地域との連携・協力体制をより一層構築し、地域全体で学校を支え子どもたちを健やかに育むことをめざすために、学校支援ボランティア活動などを中心に積極的な学校支援の取り組みを推進してまいります。

さらに、市民一人ひとりが心身ともに健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるように、その生涯にわたって、あらゆる機会や場所において学習することができ、その学んだ成果を適切に生かすことのできる環境づくりが必要であります。そうした生涯学習社会の構築をめざし、活力と潤いのある地域社会を創造するための社会教育、芸術・文化、スポーツの充実並びに地域の活性化に重要な役割を果たす公民館・図書館・



教育行政執行方針を述べる宇佐見教育長

博物館などの教育活動を推進するとともに、社会教育を担う人材育成を図ってまいります。

■学校教育

《主な施策》
・第三者評価委員会（教育行政評価・学校評価）による第三者評価の実施
・新学習指導要領への対応
・特別支援教育支援体制の充実
・富良野の自然環境を活かした環境教育の実施

■社会教育

《主な施策》
・学校支援ボランティア活動などの学校支援
・放課後子ども教室の充実
・子どものための優れた舞台芸術体験事業の推進
・乳幼児期からの家庭における読書活動のためのブックスタートの実施

■スポーツの推進

《主な施策》
・スポーツ活動普及による健康と体力づくり
・スポーツ団体育成による競技力の向上と普及、促進
・陸上競技場や河川ラグビー場などのスポーツ施設改修

平成23年度の市政執行方針で述べた主な政策

第５次富良野市総合計画に掲げる将来像の実現に向け、平成23年度の主要な政策について、基本目標に沿ってその概要をお知らせします。

【基本目標１】

次代を担う子どもたちをみんなで育むまちづくり

放課後の活動場所づくり

●緑町児童館が古くて狭いため、新たな児童センターの設計を行います。
●山部・東山に加えて、布礼別地区にも放課後子ども教室を作ります。

母子保健・医療の充実

●妊婦健康診査の公費負担を、一般健診14回分に新たに超音波検査６回分を加えます。
●子宮頸がんワクチンなどの予防接種の助成を行っています。
●地域センター病院の小児科医師の確保と産婦人科の診療体制を維持するための支援を行います。

子どもたちを育む環境づくり

●特別教育支援員の増員と新たにアドバイザーを配置し、学校間の引き継ぎや相談体制の充実、保健医療との連携を強め、特別支援教育の充実を図ります。
●家庭教育ハンドブックを作成、配布し、家庭の教育力を高めます。
●地域全体で学校を支援する学社融合事業を推進します。

』」をめざして

【基本目標２】

やさしさと生きがいが実感できるまちづくり

健康で安心できる地域づくり

●高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、保健・医療・福祉の連携による日常生活支援事業を推進し、地域ケア体制を整備します。
●一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が、緊急時に適切な措置が受けられるように緊急時医療情報カードを交付します。

豊かな心身を育む社会教育の推進

●乳幼児の言葉と心を育み、親子のコミュニケーションづくりに効果的な家庭での絵本読み聞かせを進めるため、7カ月検診時にブックスタート（絵本の配布）を始めます。
●生涯スポーツの振興とともにスポーツ競技力向上のためのアスリートの育成に努めます。

見守り支え合う地域づくり

●住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉関係機関・団体と連携し、民生委員が中心となってつくる住民助け合いマップにより、お互いに見守り、支え合う地域づくりを進めます。

【基本目標３】

人と自然が共生する環境にやさしいまちづくり

環境保全の推進

●「環境基本計画」「地域新エネルギービジョン」に基づき、化石燃料に依存しない地球温暖化への影響を減らす低炭素社会への実現に向け、環境展での啓発やペレットストーブ購入に対する助成を行います。

災害に強いまちづくり

●災害に備えた災害時要援護者の名簿づくりと、地域と連携した避難支援プランを作成します。
●気象情報や避難勧告などの情報伝達手段として携帯電話によるメール配信事業を行います。

住みよさを高めるまちづくり

●公営住宅の山部紅い実団地の建替えに向けた実施設計と「公営住宅長寿命化計画」に基づく、既存住宅の長期有効活用を進めるため、緑町団地の外壁、北の峰団地の屋上防水などの改修を行います。
●地上デジタルテレビ放送の難視聴地域の解消に向け、関係機関と連携し対応を進めます。

富良野市の将来像 「安心と希望、協働と活力の大地『ふらの

【基本目標４】

地域の魅力ある産業を活かしたまちづくり

持続可能な農業及び農村づくり

●農業を支える担い手の確保と育成に向け、農家子弟、新規参入、第三者継承、法人化、企業参入などの経営的担い手、農作業ヘルパーなどの労働的担い手、家族的担い手などの現状把握と課題整理を行い、担い手対策の体系化を進めます。
●本年度から本格実施される戸別所得補償制度に関係機関、団体と連携し、農業者の経営安定に向け取り組みます。

通年・滞在型、国際観光地づくり

●富良野地域の自然景観を生かした広域的な通年・滞在型観光地づくりと、「北の国から」放送30周年を記念した事業により、国内観光客を呼び込みます。
●外国人観光客を誘客するため、中国人、韓国人スタッフを配置し受け入れ態勢を整備します。

中心市街地活性化

●「中心市街地活性化基本計画」に基づき、生活利便性が高く市民にとって暮らしやすい街をめざすとともに、まちなか居住の推進や市民・観光客のまちなか回遊を進めます。

【基本目標５】

市民と地域、行政が協働して築くまちづくり

コミュニティ活動と地域活性化の推進

●町内会や連合会などの地域コミュニティ活動を活発にするため、コミュニティ活動推進員を増やし、地域で支えあい安心して生活できる地域社会づくりを進めます。
●山部地域や東山地域観光振興計画など、地域における自らの取り組みを支援し、地域の活力を高めます。

移住の推進

●お試し暮らし住宅を市街地、東山地区のほかに山部地区にもつくり、移住体験をしていただきます。
●ワンストップ相談窓口や首都圏へのプロモーション活動など、移住希望者のニーズに対応した情報提供を行います。

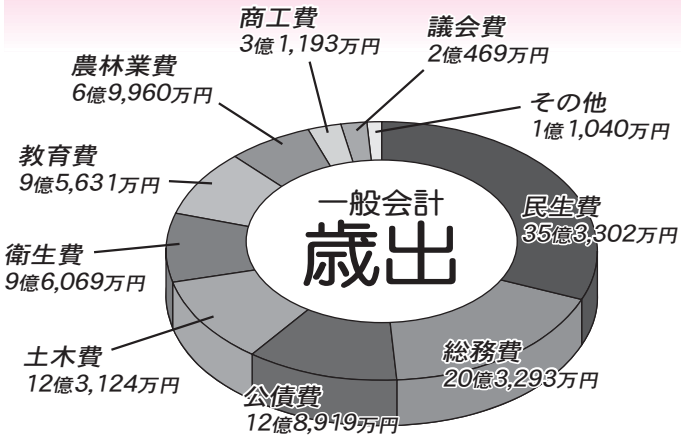
地籍調査などの実施

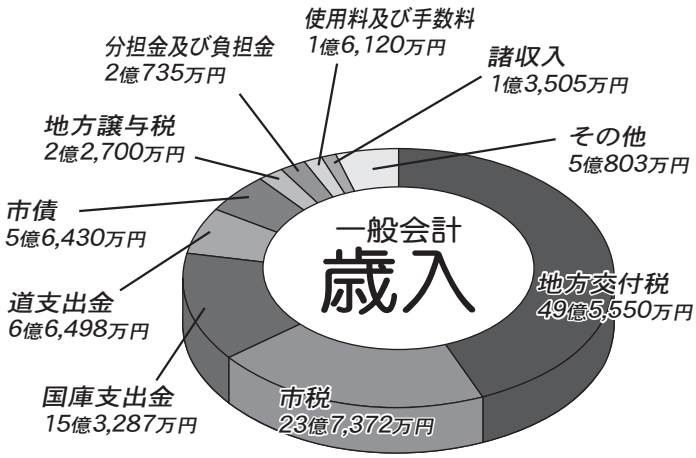
●地籍調査は個人の土地利用から公的機関による地域整備まで、土地に関するあらゆる行為のための基礎データとなるものであり、地籍調査測量の開始に向け、調査地区の決定、実施計画の作成や住民説明会などの準備作業を進めます。
●次年度運用に向けた戸籍システムを導入します。
●７月よりパスポート申請を市窓口で受付します。

予算の概要

平成23年度 富良野市一般会計 113億3,000万円

（前年度比 3.1％増）
（平成22年度6月補正後予算との比較 0.3％減）





		金　額	前年度比
一般会計		113億3,000万円	3.1％
特別会計	国民健康保険	30億3,040万円	▲2.0％
	介護保険	15億8,200万円	▲1.8％
	老人保健	—	—
	後期高齢者医療	2億5,400万円	2.8％
	公設地方卸売市場事業	2,250万円	2.3％
	公共下水道事業	8億1,460万円	14.6％
	簡易水道事業	1億1,930万円	▲7.1％
	計	58億2,280万円	▲0.1％

		金　額	前年度比
企業会計	水道事業	5億7,220万円	2.2％
	ワイン事業	7億1,650万円	▲2.7％
	計	12億8,870万円	▲0.6％

平成23年度 一般会計・特別会計・企業会計予算総額 184億4,150万円

（前年度比 1.8％増）
（平成22年度６月補正後予算との比較 0.3％減）

平成23年度

平成23年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計の予算総額は、184億4,150万円で前年度当初予算対比で3億2,200万円（1.8%）の増額となりました。ただし、平成22年度の一般会計当初予算が骨格予算（※１）のため、政策的経費などを加えた６月補正後予算と対比すると、4,940万円（▲0.3%）の微減でほぼ同規模となりました。

一般会計は、総額113億3,000万円、前年度対比3億3,800万円（3.1%）の増（前述のとおり、平成22年度６月補正後予算との対比では、3,340万円（▲0.3%）の減）となっています。

歳出では、人件費や公債費が減少する一方、平成23年度からスタートする第５次富良野市総合計画に盛り込まれた「戸籍システム導入事業」「山部川橋架換事業」「富良野小学校屋内運動場改築事業」、雇用対策として引き続き実施する「緊急雇用対策事業」、及び「自立支援給付費」や「生活保護費」など扶助費の伸びもあり、政策的経費を加えた前年度予算（平成22年度６月補正後）とほぼ同規模になりました。

歳入では、地方税が景気の持ち直しによる法人関係税の伸び（前年度当初対比2,300万円 （15.1%）の増）が見込まれる一方、たばこ税では昨年10月の税率改正や健康意識の高まりなどを反映して減少傾向が見込まれます。一方、地方交付税は、国の地方主権改革の方針や財政運営戦略により、地方への交付総額は前年度当初より微増となりました。本市の予算においては、算定に係る基礎数値や制度改正、また、国勢調査の人口の改訂などを考慮し、前年度当初対比１億9,600万円（4.1%）の増、地方交付税の振替分である臨時財政対策債（※２）を加えた実質の地方交付税では、前年度当初対比１億4,600万円（2.8%）の増を見込んでいます。

特別会計では、国民健康保険特別会計が療養給付費の減に伴い、前年度対比6,100万円（▲2.0%）の減、介護保険特別会計は介護サービス給付費の減により2,830万円（▲1.8%）の減、老人保健特別会計は、「後期高齢者医療制度」への移行に伴い設けられていた経過措置期間の終了により、平成22年度末をもって会計を廃止することによる皆減となっています。また、公共下水道事業特別会計においては、公的資金の補償金免除による繰上償還（※３）を実施することなどに伴い、１億360万円（14.6%）の増となったことなどから、６つの特別会計の総額では、前年度対比8,300万円（▲0.1%）の減となっています。

企業会計では、水道事業会計で企業債償還利子の減による収益的支出の減、一方で資本的支出においては施設整備費や量水器取替費の増や企業債償還元金の増などから会計全体で前年度対比1,240万円（2.2%）の増となっています。

また、ワイン事業会計においては、収益的支出で修繕費や減価償却費などの製品生産費の減や、資本的支出でブドウ収穫量の減少に伴う製品製造費の減により、会計全体で前年度対比2,010万円（▲2.7%）の減となり、企業会計総額では、前年度対比770万円（▲0.6%）の減となっています。

本市では、平成20年度から市民のみなさんの協力をいただき取り組んできた財政健全化計画が、一定の成果を上げ財政運営の見通しがついたことから、平成22年度をもって終結することといたしましたが、健全な財政を今後とも維持していくため、「身の丈にあった予算」を基本に、歳入に見合った歳出予算の確立と簡素で効率的な財政運営に努めてまいります。

（※１）骨格予算

平成22年度の当初予算は、４月の市長選挙を控え、新規の施策や政策的経費を抑え、経常的経費を中心に編成しました。

（※２） 臨時財政対策債

国の地方交付税として交付するべき財源が不足した場合に、地方交付税の交付額を減らして、その穴埋めとして、地方公共団体が臨時財政対策債を発行します。償還に要する費用は後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源と見ることができます。

（※３）公的資金の補償金免除による繰上償還

公債費負担の軽減対策として、一定条件の地方公共団体を対象に、平成22年度から24年度までの３年間に限り、高利率（年５%以上）の公的資金（財政融資、旧簡易保険、旧公営企業金融公庫資金）の繰上償還を行う場合、運用益相当分として通常貸出機関に支払うこととなっている補償金が免除されるものです。

gakuyomi

学校読み聞かせクラブ「がくよみ」

読み聞かせの輪を広げたい。子どもたちへの思いから

▲ 富良野小学校の朝の読み聞かせ　▶「がくよみ」メンバーのミーティングの様子

「この本、すごくいいから読んでみて」「この前この本読んだらうちの子ね…」「……」

昨年の4月に、市内の小学校で読み聞かせボランティアを行っているお母さんたちを中心に、「がくよみ（望月 睦 代表）」の活動が始まりました。「がくよみ」とは「学校読み聞かせクラブ」の略称で、毎月第3木曜日に、読み聞かせの情報交換や絵本選びをしている図書館サークルです。

富良野小学校、扇山小学校、東小学校には、保護者による読み聞かせのグループがあります。それぞれのグループでは、いつ何の本を読んだのかを確認できるように、保護者同士がコミュニケーションをとりながら、子どもたちの楽しみを意識した活動をしています。しかし、本選びは大変な作業。「少しでも活動の手助けができれば」と、経験のある数人の仲間がこのサークルを立ち上げました。

絵本選びは、参考図書を頼りに年間計画を立て、毎月のテーマに沿ったたくさんの本を図書

yui

子育てママコミュニティ「ゆい」

カウンターでコーヒーを淹れる子育てママたち。支え合い、社会にふれる

オーナーの浦田さん（右端）は子育て、人生の良きアドバイザー
幅広い世代間交流が子育てママたちの助けになっている

喫茶店「くるみ割り」を運営しながら活動する子育てママたちのコミュニティ「ゆい（谷山千代リーダー）」。オーナーの浦田さんから、「子育てをしながら喫茶店を運営してみないか」と2児の子育て中だった谷山さんに声がかかり、2年前に発足しました。

「最初は働けるか不安でしたが、同じ幼稚園の子育て仲間に声をかけたら、すぐに10人ほど集まりました。子育てをしていると家にこもりがちですが、こういう場があると、学校のことや、子育ての悩みを相談できます。喫茶店も仲間と助け合い、オーナーに支えてもらいながら続けています。託児室があるので子どもが小さくても安心して働けます。世代の違うお客さんと情報交換ができることも貴重ですね」と谷山さん。現在は7人が

富良野に移る

藤原 花梨さん
ふじわら　かりん
FUJIWARA　KARIN

カフェ店主　北の峰

ここで働くことは、旅をしているのと似ています。

北の峰のカフェ「チュプカ」で働く藤原花梨さんは千葉県出身の32歳。

世界40カ国を旅してきた藤原さんは、子どもの頃に地図帳を開き抱いていた「世界のいろいろなところを見てみたい」という思いを実現してきました。東京の出版社に就職したのも、旅と同じように、いろいろな人との出会いを求めてのことでした。しかし、都会での経済や効率ばかりを求める生活が合わず、「将来は田舎で暮らし、自分の作ったもので生活したい」と考えるようになります。その思いから、自然に優しい循環型の生活を学ぼうと、フランスに渡り、8カ月間過ごしてきました。「畑仕事やわらの家を建てるお手伝いをし、お金ではなく衣食住をさせてもらいました。物を大切にする文化にも触れ、理想とする生活がリアルになりました」と藤原さん。また、本とコーヒーが好きな藤原さんは旅をする中で世界各国のカフェに立ち寄ったそうです。「外国ではカフェが生活の一部になっていて、人が出会う場所にもなっているんです。そんなカフェに憧れていました」と話します。

そして、フランス滞在中に富良野で働く知人から「カフェを開くから手伝ってほしい」と連絡があり、富良野に移り住みました。「富良野は人が面白いです。移住者も多いし、日本のアメリカみたい。いろいろな出会いもあって、人がつながっていく。ここで働くことは、旅をしているのと似ています」と富良野の暮らしを楽しんでいます。

今後について藤原さんは、「カフェだけでなく、複合的にやりたいですね。一人ではできないですが、農作物を作ったり、フラワーアレンジメントをしたり、ここで、生活のサイクルみたいなものを見せられたらいいなと思っています」と夢をふくらませます。

昨夏には、店先で古本市を行い、また、3月には、ニュージーランドと東北地方太平洋沖地震のチャリティーイベントを開催しました。「周りも同じ思いを持っていて、1週間ほどで実施にこぎつけました。こういうことがすぐにできるのも富良野の良さですよね」と藤原さん。富良野の可能性と藤原さんの世界での見聞が結びつき、また新たなものを生み出していきます。

ニュージーランド、東北地方太平洋沖地震のチャリティーイベント

館から借りておきます。集まったメンバーはその本の山から思い思いに数冊の本を借りていきます。他市町村の図書館や道立図書館から取り寄せることもあり、市立図書館もこの取り組みを積極的にサポートしています。

「学校の活動に限らず、家庭での読み聞かせの話もしています。気兼ねなく誰でも入会を」と望月さん。毎回10人前後のメンバーが、井戸端会議のような楽しい雰囲気の中で交流を深めています。市教育委員会の学校支援ボランティアに登録して活動している方も多く、学校間の垣根を超えた交流の中から、さらなる活動の広がりが期待されます。

交代制で運営しています。

浦田さんは「まずは夏だけの営業と始まったのですが、居心地が良くて続けています。地域で支え合える関係づくりが必要だと思っていました。私たちシニア世代ができること、どう関わるかを考え、一つの形になりました。ママさんたちを支えているという実感があるし、何より若い人たちと話すのが楽しいんです」と語ってくれました。

店内には、カウンターでコーヒーを楽しむおばあちゃんの話し声と、子どもたちの元気な声が入り混じっていました。

へその学校だより①

樹海中学校

学校農園のかぼちゃづくりなどをとおして郷土愛を育む

豊かな自然の中で育まれた東山地域の中学生19人の学び舎、樹海中学校が、昨年「北海道教育実践表彰」を受賞しました。学力向上の取り組みや、ボランティア活動、地域性を活かした活動などが総合的に評価されての受賞でした。

活動のなかでも樹海中学校ならではの取り組みとしてあげられるのは学校農園です。

今ではすっかり有名になった学校農園でのかぼちゃづくりは、平成13年に近所の農地を借りて始めました。地元農家やことぶき大学東山校の学生などの指導のもと、定植や収穫、販売の体験を行っています。平成20年からは農地の借用をやめ、しばらく使用していなかったテニスコートを地域のみなさんの協力で耕し、約25アールの土地にかぼちゃを栽培。暗渠排水などの本格的な土地整備や、収穫作業などに使用する東屋の建設など、関係者の協力を得て本格的な農園を作り上げました。また、市内での販売や、福祉施設への提供を重ねるうちに話題となり、横浜市の有名レストランでも食材として扱われるようになりました。

そのほかにも、演劇工房の協力で本格的な演劇の表現を学び、ふらの演劇祭に参加をしたり、演習林に実習に入り専門の講師に指導を受け、森林学習の成果をグループごとに絵本にまとめる（図書室に展示）などの取り組みも。外部講師や地域の方々との交流体験学習が、生徒たちに刺激を与え、郷土愛を育んでいます。

藤澤校長は、「『樹海中学校といえば?』という問いに即座に答えられるものをたくさん作って、人に語れるような活動をさせてあげたい」と、子どもたちが誇れる学校づくりを念頭に置き、マスコミなどを活用して学校活動を積極的にPRしています。また、「マスメディアなどに紹介されることで活動の励みとなり、さらに学校の活動が地域に認知されることで理解が深まって、学校を身近に感じてもらえれば」と話してくれました。

わんぱくざかり

小学生からの友だちです！
子どもたちもママたちも楽しく遊んでいます♬

左から
宮川　華乃（はなの）さん（3歳）　一色　月桜（るのん）さん（3歳）
西方　梨瑠（りる）さん（1歳）　一色　杏月（あるな）さん（5歳）
一色　桜來（さらん）さん（7カ月）　東町

お姉ちゃんと
初めてのそり遊び♪

中村　凛（りん）さん（6歳）
悠太郎（ゆうたろう）さん（6カ月）
瑞穂町

お子さんの写真を募集しています！
応募は、①住所②氏名③電話番号④お子さんの名前（ふりがな）と年齢⑤簡単なコメントを添えて、持参・郵送・メールのいずれかの方法で「広報ふらの」までお寄せください。（メールアドレス　kikaku-ka@city.furano.hokkaido.jp）

子育て・親育ち ①

娘の成長に思わず感動！

10歳、8歳、5歳の3児の母です。子育ても10年選手でベテラン、と言いたいところですが、なかなかどうして、いまだに悩んだり反省したりの毎日です。

たとえば、兄弟げんか。寄ると触ると始まるけんかに、以前は大声で叱ったり、しゃにむに仲直りをさせたりしていました。でも最近はいっそ放っておくことに…。案外親が介入しなくても彼らなりに仲直りの道を探り、気がつくとまたいっしょに遊んでいる、といった具合。

ある日、10歳の長女が私に「兄弟げんかをせずに仲良く過ごす3つの方法を考えたよ」と提案してきました。彼女曰く、1つ「相手の良いところをほめること」2つ「相手の話をよく聞いて、そうだねと言ってあげること」3つ「物を取り合ってけんかになりそうになったら、別の物をあげて納得させること」。

実は、私と子どもたちの間で、もし3人が2週間けんかをしないで過ごせたら、念願のペットを飼ってあげるという約束を交わしていた期間だったのです。長女としても懸命だったのでしょう。それを聞いたとき私が「すごいね、本当に大事なことに気がついたね」と言うと、長女も「お母さんもできてるよ。今ちゃんと私の話を聞いてほめてくれたもの」ですって。いつの間にかこんなに成長して、と思わずジーン…。でもそんな長女も、時には自分からけんかをしかけることも…。

親子とはいえ、そこは人対人の関係。しょっちゅう腹を立てたり、時には妙に感心したり。あんまりがんばり過ぎず、でも真剣に、たまには手を抜き…。まだまだ続く長い道のり。子どもたちといっしょに私たち親も、のんびりとゆっくりと楽しみながら成長していけたらと思っています。

ペットは…、まだ飼っていません。

本町　K・Kさん

子育てをとおして親も成長するものです。このコーナーでは、そんな子育て体験を紹介します。体験記を「広報ふらの」へお寄せください。（650字程度）

ズームアップ

なぜ今、協働のまちづくり？

まちづくり講演会　　2月27日(日)

人口減少や少子高齢化が進み、地域主権改革が進められる中、これからの「まちづくり」について考える機会として、まちづくり講演会を開催しました。社団法人日本経営協会専任講師の浦野秀一さんの講演に、80人の参加者が熱心に耳を傾けました。浦野さんは、実体験に基づいた町内会活動や地域活性化に向けた先進的な事例の紹介を交えながら、戦後の時代背景とその時代ごとのまちづくりの在り方をわかりやすく図で解説。「まちづくりは、行政主体型から、住民参加型へと移行している。行政は、行政でしかできないこと、行政だからこそやるべきことをする。住民は、行政に頼らず、自分たちの暮らしを自分たちで支えてきた『支え合いの文化』を再生する。地方分権により『与えられた自治』から『自ら創りあげる自治』へ意識を変えなければならない」と、まちづくりを通じて本当につくるべきものは、『支え合いの文化』、『和』であり、本音の議論が不可欠であると強く訴えました。

スキー愛好者へ今年も温かいおもてなし

麓郷ラングラウフ　　3月13日(日)

麓郷の森で毎年開催され、28回を数える歩くスキーの集い「麓郷ラングラウフ」に、道内各地から約200人の愛好者が訪れました。年齢、体力、ハンディの有無に係わらず誰でも楽しむことができるのがこの集いの醍醐味。麓郷中学校の生徒が目の不自由な方の伴走をし、地元の実行委員会メンバーが、温かい豚汁や焼いも、新鮮な牛乳で、滑り終えた参加者をねぎらいました。

富良野オムカレーを家庭料理に

ほくでん料理教室　　3月7日(月)

オムカレーを家庭でも楽しめるよう北海道電力富良野営業所が、富良野オムカレー推進協議会の協力の下、料理教室を開催しました。野菜ソムリエで管理栄養士の辻綾子さんから「ヘルシーなオムカレーレシピ」が紹介され、「初めて作ったけど、家でもできそう」と参加者から好評を得ました。オムカレー推進協議会の松野健吾さんは、「地元でも愛されるように家庭でも作ってほしい」と呼びかけます。

冬の富良野を体感。移住体験ツアー開催

移住体験モニターツアー　3月17日(木)～21日(月)

移住希望者に冬の富良野生活を体験してもらおうと、ふらの市移住促進協議会がモニターツアーを企画し、道外から5組9人が参加しました。ツアーでは市内の医療機関や文化施設などを見学。また、期間中に行われた就職支援面接会に参加する方もいました。参加者は、「思ったほど雪が多くない」「実際に移住する決心ができた」と冬の生活体験をとおして、移住への具体的なイメージを持ち帰りました。

富良野で働きたい！ × 優秀な人材がほしい！

就職支援マッチングセミナー　3月19日(土)

求職者と富良野圏域の企業（一部圏域外含む）を引き合わせる「就職支援マッチングセミナー」がフラノ寶亭留（ほてる）で開催され、人材を求める企業18社と富良野圏域で職を求める15人が面談しました。札幌市から参加した学生は、「地元で働きたくて参加しました。学生時代に、部活で養った体力を活かし、アウトドア関係の企業に就職したいです」と話していました。

富小全国で1勝！特別賞受賞

全国小学生タグラグビー選手権大会

2月26日(土)・27日(日)

富良野小ヘそタグズ（鈴木良人コーチ）が東京の秩父宮ラグビー場で開催された全国小学生タグラグビー選手権大会に出場し、見事1勝、また、フェアプレーとチームの良い雰囲気が評価され、特別賞（1校のみ）を受賞しました。ヘそタグズは「全国大会優勝」を目標に、冬の間、室内で練習を重ねてきました。目標としていた優勝こそできませんでしたが、村上泰雅キャプテンは、「楽しかった。他のチームの子たちとも仲良くなれた」と貴重な経験を積んできました。メンバーには5年生が3人入っており、「来年もここに来る」と意気込んでいました。

消費者相談 Q&A

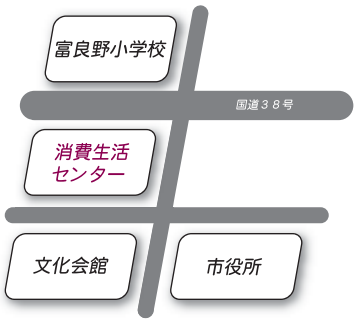
住宅用火災警報器の選び方は？
（40代 女性）

Q そろそろ我が家でも、住宅用火災警報器を付けようと考えています。設置場所や警報器の選び方など教えてください。

A 相談者のような住宅の場合は、富良野広域連合火災予防条例により平成23年5月31日までに設置しなければなりません。住宅用火災警報器は電気店やホームセンターなどで3000円ぐらいから販売されており（「NSマーク」の付いた商品をお買い求めください）、自分で設置することも可能ですが、販売店でも設置（有料）してもらえます。住宅用火災警報器には、けむり感知タイプと熱感知タイプの2種類があり、1カ所が感知するとすべてが鳴る連動型もあります。設置場所は、富良野市の場合はけむり感知タイプを寝室に設置し、2階以上に寝室がある場合には階段の最上部にも設置することが義務付けられています。また、大切な家族の命にかかわることですので、その心理につけこみ契約を迫ったり、高額な契約をさせるという事件も全国的に発生しています。訪問販売や電話勧誘販売で警報器を購入した場合は、契約してから8日間はクーリング・オフができますので、「しまった」と思ったときは消費生活センターに相談ください。（住宅用火災警報器に関する問い合わせは富良野消防署☎23-5119）

消費生活センター

問富良野市消費生活センター　若松町17番1号　☎39-1166
月～金　午前10時～午後4時



◆クーリング・オフ葉書は富良野郵便局、若葉郵便局、山部・東山支所にも置いてあります。また、消費生活センターと山部・東山支所に「衣類回収ボックス」が設置されています。不要になった衣類（綿50%以上のもの）の回収にご協力ください。

ダイヤル交換市

◆登録は随時受付けています。
◆登録期間は6カ月です。

譲ります

◉カテーテル付吸引機◉子ども用スポーツサイクル自転車（24インチ）◉ランドセル（紺色）◉雛（ひな）飾り（5段）◉座卓長テーブル◉事務用イス◉ゴルフクラブ一式◉学芸百科事典

譲ってください

◉和装用ボディ◉子ども用一輪車◉西中学校制服（女子・男子）◉ベビーベッド◉剣道具一式（中学生）

混ぜればごみ。

リサイクル掲示板

市民環境課からのお知らせ ☎39-2308

マイマイガの卵・幼虫の駆除を

昨年大発生したマイマイガは成虫になると駆除が難しいため、卵や幼虫の段階で駆除することが効果的です。

市内でも、多くの卵を産み付けています。大量発生を防ぐためにも、駆除にご協力ください。

[卵の駆除]

卵は7月から秋にかけて産み付けられます。褐色のマユのようなもので覆われていて、殺虫剤などでは効果が期待できません。こまめに剥がしてつぶすか土中に埋めてください。

[幼虫（毛虫）の駆除]

●幼虫の初期（体長約1センチ位まで）

園芸店やホームセンターなどで販売している殺虫剤（スプレー式のものやスミチオン乳剤、トレボン乳剤、マラソン乳剤など噴霧器を使用するもの）で駆除することができます。

●幼虫の後期（体長約1センチ以上）

殺虫剤はあまり効果がありません。つぶすか土中に埋める、または洗剤水に入れて溺死させてください。

※駆除した卵や幼虫をご家庭で処理（土中に埋めるなど）できないときは、市で回収しますのでビニール袋などに集めて市民環境課環境係へご連絡ください。
問市民環境課 ☎39-2308

健康情報 Health Information

●花粉症でお悩みの方へ

暖かい時期になると、シラカバなどの花粉症でお悩みの方も多いでしょう。花粉症患者さんの中で、りんごなどの果物でのどがかゆくなったり腫れたりした経験のある方もいるかと思います。このような状態は、口腔アレルギー症候群と呼ばれ、花粉症患者さんの増加とともに増えています。今回はこの疾患についてお話します。

●さまざまな症状

口腔アレルギー症候群の症状は、原因となる特定の食物（別表）を食べたあと15分以内に口唇・口腔・のどなどに、かゆみ・ひりひり感・痛み・腫れ・圧迫感などが起こります。それに引き続き、鼻や眼での花粉症様の症状・顔面腫脹・蕁麻疹・腹痛など、まれに重篤な症状としてショック・呼吸困難などを起こすこともあります。

●対処法は？

原因の食物は果物や野菜など多岐にわたりますが、複数の食物に反応する方も多いようです。花粉症患者さんの3～5割に合併しますが、その理由は原因食物と原因花粉の間に交差抗原性（アレルギーの原因となる物質が共通して含まれていること）があるからと考えられています。治療としては原因食物の摂取を避けることが最も重要です。症状が現れたときは投薬で改善しますが、急な発症の場合には救急医療機関の受診も必要になります。また、症状が軽くても繰り返しの摂取で重篤になることもあり注意が必要です。怪しいなと思ったら専門医に相談してください。

【別表】　口腔アレルギー症候群

花粉の種類		症状出現に関連する食物
シラカバ花粉	果物	キウイ・リンゴ・洋ナシ・プラム・プルーン・モモ・ネクタリン・アプリコット・チェリー
	植物	セロリ・ニンジン・パセリ・ディル・アニス・オランダ（アメリカ）ボウフウ・クミン・コリアンダー・キャラウェイ・フェンネル・ポテト・トマト・グリーンペッパー・レンチル・エンドウ・インゲン豆
	ナッツ類	ヘーゼルナッツ・ウォールナッツ・ピーナッツ・アーモンド
	種子類	ヒマワリ
ブタクサ花粉	果物	バナナ・スイカ・マクワウリ（樹皮・アブラムシなどの）みつ
	植物	ズッキーニ・キュウリ
イネ花粉	果物	メロン・スイカ・トマト・オレンジ・キウイ
ヨモギ花粉	果物	リンゴ・スイカ・メロン
	植物	セロリ・ニンジン

富良野医師会　理事　林　浩　先生

●口腔アレルギー症候群について

寄付

ありがとうございます

富良野市へ

富良野西中学校開校60周年、体育館・特別教室改築記念事業協賛会
グラウンドテント10張、格納庫４棟
リヤカー２台、冷水飲水機１台
校章・校歌・校訓各１枚、スリッパ100足
グランドピアノ移動機１台

大谷建設株式会社
ＡＥＤ（自動体外式除細動器）１台

富良野市立あおぞら保育所父母の会
幼児用玩具

博物館へ

高島　智さん　柳行李　１点

リサイクルにご協力ください。分ければ資源、
分別に迷ったら、市民環境課へ

ごみQ＆A

Q 新しく富良野に転勤して来たのですが、今まで生ごみは「燃えるごみ」に出していました。富良野では、固形燃料ごみ（黄色袋）に出してもいいのですか？

A 生ごみを固形燃料ごみ（黄色袋）に出すことはできません。分別して生ごみ専用袋を使い、生ごみの収集日に出してください。分別した生ごみは堆肥として農地に利用されています。また、固形燃料ごみは、紙くずや紙製品、布・革・ゴム製品、小さな木製品、容器包装以外のプラスチック類が対象になります。これらは固形燃料に加工され、ボイラー用燃料に利用されています。

くらし

浄化槽設置整備補助金について

浄化槽設置整備補助金の受け付けを行います。申し込みは浄化槽設置者本人か同居の家族の方に限ります。

対象者　下水道区域外で、居住用の住宅に設置される方。

受付期間　4月11日(月)～20日(水)

必要書類　浄化槽工事の見積書及び補助金申込書

募集基数　15基（申し込みが15基を超えた場合は抽選になります）

抽選会／説明会　4月22日(金)午後3時

問市民環境課　☎39-2308

小学生の入院医療費助成

小学生の入院時の医療費を助成しています。（一定の所得を超える方は対象外）

助成方法

◆沿線の医療機関に入院される場合は、受給者証の交付の手続きが必要です。

◆沿線の医療機関以外に入院された場合は、医療費の払い戻しの手続きが必要です。

手続き方法　必要書類を持参し、市役所③番窓口で手続きください。

必要書類など

❶健康保険証

❷印鑑

※払い戻しの手続きには…

❸医療機関発行の領収書

❹預金通帳

も必要になります。

問保健医療課　☎39-2310

住宅リフォーム促進事業補助金について

工事費100万円以上（税抜）のリフォーム工事に対し20万円を補助します。

補助対象／条件

❶現に居住している自己所有住宅のリフォーム工事

❷税金の滞納がない

❸市内登録業者による施工

❹リフォームに係る工事費が100万円以上（税抜）

❺耐震改修助成を利用する場合は、耐震改修計画を策定

受付開始　4月4日(月)から

その他　昭和56年5月以前に着工した木造住宅の耐震改修をあわせて行う場合は、リフォーム補助金20万円のほか耐震補助金30万円（上限）を上乗せして最大50万円の補助を受けることができます。

※この補助制度は、同一住宅に対し1回限りです。

問都市建築課　☎39-2316

市・道営住宅入居者募集計画（平成23年度）

平成23年度の市・道営住宅の募集は、空家がある場合次の日程で行います。入居希望者が公募戸数を上回る場合は、公開抽選により決定します。

第1回募集　5月9日～20日

第2回募集　7月4日～15日

第3回募集　9月5日～16日

第4回募集　11月7日～18日

第5回募集　平成24年2月6日～17日

公募する住宅の詳細については募集月発行の「広報ふらの」及び都市建築課窓口、電話、市ホームページで確認す

☆新着本の紹介☆

●児童書　おどって！ウズメ／山口 節子
のねずみチッチ／ふくざわ ゆみこ
けいちゃんのくすりゆび／あきやま ただし

●一般書　世にも奇妙なマラソン大会／高野 秀行
ルイと風のガーデン

今月注目の本！

「サイパンから来た列車」

棟田 博

第二次大戦後10年目の8月15日深夜、1台の軍用列車がひそかに東京駅にすべりこむ。降りたったのはサイパンで玉砕し、遺骨も放置されたままの英霊たちの一聯隊だった…。富良野GROUP公演「歸國」原作。

図書館だより

開館時間　火～金曜日　午前10時～午後6時
土・日曜日　午前9時～午後5時

2階展示ホール

全国学生書道展　～4月6日(水)
最終日は午後3時30分まで

2階多目的ホール

おはなし会　4月9日(土)　午前10時30分
英語のおはなし会　4月16日(土)　午前10時30分

1階おはなしコーナー

どんぐりおはなし会　毎週水曜日　午後3時

4月の休館日　毎週月曜日・29日(金)

問図書館　☎22-3005

広告①

ることができます。
http://www.city.furano.hokkaido.jp/
問都市建築課 ☎39-2316

固定資産の縦覧のお知らせ

お持ちの固定資産（土地・家屋）の価格が適正かどうかを判断できるよう「土地・家屋価格等縦覧帳簿（市内で課税されている全ての土地・家屋の価格、面積などが記載）」で確認することができます。

縦覧期間／場所
【市役所1階7番窓口】
4月1日㊎～5月31日㊋
【山部福祉センター】
4月12日㊋
午前10時～午後3時
【東山支所】
4月11日㊊
午前10時～午後3時

対象者 縦覧できる方は、固定資産税（土地・家屋）の納税者です。身分証明書（運転免許証など）あるいは納税通知書をお持ちください。
問税務課 ☎39-2302

富良野の自然シリーズNo.3『富良野の外来生物』を発行

博物館では、外来生物を通して私たちの暮らしと郷土の自然について考える本を発行しました。希望される方は生涯学習センターへ直接お越しください。

価格 500円
部数 700部限定
内容 富良野に生息する代表的な外来生物を取り上げ、現状とその与える影響について紹介するとともに、外来生物に関する基礎的な解説もしています。
問生涯学習センター ☎42-2407

犬・猫の苦情が増えています

雪解けが進むこの時期、犬や猫のフンなどに関する苦情が多く寄せられます。飼主の方は、特に次のマナーを守るようにお願いします。

犬の飼主さん
散歩の際は、必ずリード（引き綱）を付けましょう。当然、フンの後始末はしましょう。

猫の飼主さん
猫は室内で飼うように努力しましょう。
※むやみに野良猫の餌付けをしないようにお願いします。餌を与える場合は、飼主として責任を持ちましょう。
問市民環境課 ☎39-2308

旭川十勝道路富良野北道路景観整備ガイドライン（案）

旭川十勝道路富良野北道路の景観整備ガイドライン（案）をご覧いただけます。
場所 市役所2階 建設水道部ロビー
期間 4月11日㊊～5月10日㊋
問旭川開発建設部富良野道路事務所（西扇山1） ☎23-3171

林野火災の発生予防

その油断 緑の森を 火の海に

【林野火災の発生状況】
林野火災は、例年春先に多く発生しています。出火原因は、「たき火」「放火」「たばこ」

ヒブワクチン及び小児肺炎球菌ワクチン接種費用を助成します

平成23年４月より、生後２カ月から満４歳までのお子さんを対象に、ヒブワクチン及び小児肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を実施します。くわしい内容については、対象となる方に通知します。

子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成を延期します

平成23年４月より、中学１年生から高校２年生女子を対象に、子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成を実施する予定でしたが、現在ワクチンの供給が不足しており、ワクチン接種ができない状況です。ワクチン接種が再開できるのは７月以降の予定ですので、費用助成もそれまで延期します。接種が可能となった時期にくわしい案内をします。

問保健医療課 ☎39-2200

広告③
広告②

こ」「火入れ」「火遊び」などで、人的失火による火災の割合が多くを占めており、各地区の森林愛護組合、自然保護監視員、鳥獣保護員、森林保全巡視指導員なども巡回し警戒しています。

このような失火による林野火災を未然に防ぐため、次のような点に注意するよう心掛けましょう。

【失火防止のための注意点】

◆枯草などがある場所など、火災が起こりやすいところでは、マッチ・ライターなどの火の使用は控えること。

◆たばこは指定された場所で喫煙し、吸殻は必ず消すとともに、投げ捨てないこと。

◆バーベキューなどで火を使用する場合は、指定された場所で行い、そこを離れる時には完全に火を消すこと。

◆火気を使用する場合には、周囲の燃えやすい物の状況に十分注意をするとともに消火用の水などを必ず用意すること。

◆強風注意報や乾燥注意報などが発令されている場合には、火気の使用はしないこと。

問富良野消防署 ☎23-5119

春の火災予防運動

「消したかな」あなたを守る合言葉

期間 4月20日(水)～4月30日(土)

全道一斉に春の火災予防運動が展開されます。平成22年中に市内で発生した火災は11件で、1人が負傷しています。雪解けの季節になり、空気が乾燥し、風が強く、火災が発生しやすくなるため、一人ひとりが火の元に注意を払うことが必要です。

また、住宅用火災警報器の設置はお済みですか？（設置は平成23年5月31日まで）悪質な訪問販売には注意しましょう。

◆住宅防火・いのちを守る7つのポイント

【3つの習慣】

❶寝たばこは絶対やめる。

❷ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

❸ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

❹逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

❺寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。

❻火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器などを設置する。

❼お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

問富良野消防署 ☎23-5119

心身障がい者の巡回相談

とき 5月16日(月)～5月19日(木)

ところ 旭川市障害者福祉センター「おぴった」（宮前通東4155番地30）

内容 知的障がいの方の療育手帳の交付の可否及び障がい程度の判定、そのほか専門的相談など。

※相談は予約制です。4月15日(金)までに福祉課に連絡ください。

今後も不定期な日程で開催を予定しています。広報などで確認してください。

問福祉課 ☎39-2211

有料パークゴルフ場がオープンします

料金（富良野圏域住民）

当日券

◆中学生以下 100円

◆高校生・一般 300円

回数券（3施設共通12枚綴り）

◆中学生以下 1000円

◆高校生・一般 3000円

3施設共通シーズン券

◆高校生・一般 15000円

※回数券とシーズン券は4月11日(月)より発売予定です。

※利用券、利用時間、購入方法などは、パークゴルフ場に問い合わせください。

●金満緑地公園パークゴルフ場

☎22-1152

オープン予定日 4月16日(土)

休園日 水曜日

問大北土建工業緑化造園課 ☎44-2390

●山部自然公園太陽の里パークゴルフ場

☎42-3003

オープン予定日 4月29日(金)

休園日 火曜日

問山部商業協同組合 ☎42-2718

●東山公園パークゴルフ場

☎27-2727

オープン予定日 4月16日(土)

休園日 木曜日

問シルバー人材センター ☎22-5010

催し

笑顔で運動みんなで参加 チャレンジデーinふらの

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベントで、市民が身体活動を通して、健康づくりや地域住民の連携強化など生涯スポーツの振興を図ります。富良野市は初めての参加となります。

内容 各自治体での運動、スポーツ活動への参加率を競います。15分以上継続して運動やスポーツなどの身体活動を行うことで参加できます。

とき 5月25日(水) 午前0時～午後9時

✚ 東北関東大震災義援金の受付

日本赤十字社富良野市地区は、3月11日(金)に発生した地震と津波により被災された方々への義援金を募集しています。受付方法は下記のとおりです。また、義援金をお寄せいただきました個人、団体のみなさまに心からお礼申し上げます。

現在の義援金総額　7,743,367円（3月25日現在）

うち赤十字奉仕団による街頭募金総額　734,865円

✚ 受付方法 ✚

❶郵便振替（手数料免除）

【加入者名】 日本赤十字社　東北関東大震災義援金

【口座番号】 00140 - 8 - 507

❷日本赤十字社富良野市地区の窓口

福祉総務係（保健センター2階）、市民年金係　（市役所1階）、山部支所、東山支所、ふれあいセンター

問日本赤十字社富良野市地区（福祉課） ☎39 - 2211

ところ　市内どこでも運動やスポーツ活動ができます。（自宅・学校・職場・運動施設など）
対　象　当日、市内にいる方（通学、通勤、観光客も対象となります）
参加登録　15分以上継続して身体活動を行った方はスポーツセンターに電話、FAX、メールで登録してください。（参加登録は一回のみ）
参加締切　午後9時30分
共通イベント　全国共通イベントとして、ロープジャンプEXをスポーツセンターで行います。
問スポーツセンター　☎23-9666　FAX23-9667

山川草木を育てる集い「第22回 植樹祭」

とき　4月29日㊎午前10時（小雨の場合は実施します）
ところ　鳥沼公園
集合場所　鳥沼公園駐車場（鳥沼会館向い）
参加料　無料
服　装　長袖、長ズボン、長ぐつ、帽子、軍手、タオルなど野外作業に適した服装
申込み　申込みの必要はありません。直接会場に来てください。
※道具は事務局で用意します。
問生涯学習センター　☎42-2407

募集

看護職員養成修学資金貸付金募集

市では、保健師、助産師、看護師を養成する学校（通信制を含む）、または養成所に在学する方に修学資金の貸し付けを行っています。
対　象　将来市内の医療機関または保健福祉施設において看護業務に従事しようとする学生
募集受付開始　4月1日㊎
問富良野看護専門学校　☎22-5510

「少林寺拳法富良野スポーツ少年団」新入会員募集

少林寺拳法の技術の修行だけでなく、リーダー研修、少年団研修などを通して、心身ともにたくましい子どもの育成をめざし活動しています。
練習日　毎週火・木曜日　午後7時～
練習場所　北の峰コミュニティセンター
対　象　幼稚園年長～高校生
会　費　入会費・個人会費（年度登録料）・月会費
※見学は随時可能。道衣の貸し出しもあります。
問部長　小玉 憲仁さん　☎23-3109

演劇工場から公演のお知らせ

問富良野演劇工場☎39-0333

映画　- 富良野ロータリークラブ映画祭 -

僕と妻の1778の物語

－余命１年の妻に僕は何ができるだろう－
主演　草彅 剛／竹内 結子
4月9日㊏　14：00／19：00
10日㊐　10：00／14：00
◆**前売券**　大人1,000円／子ども500円（５才～中学生）
※当日は200円増し。60才以上は当日も1,000円。

着物ファッションショー

第三回 富良野 美の競演

4月24日㊐　14：00
◆**入場無料**　整理券をお持ちください。
◆**整理券取扱所**　富良野演劇工場／文化会館／しのはら洋装店
※来場者の中から抽選で着物や袋帯、小物など20点以上の豪華景品が当たります。

年金だより

学生納付特例制度について

学生の前年所得が一定以下であれば、申請により、在学中の保険料の納付が猶予される制度です。
これに基づいて、在学中は受給資格期間として算入されますが、制度活用後10年以内に納付しないと満額の老齢基礎年金は受けとれません。猶予期間分の保険料は、卒業後就職して収入を得るようになってから、忘れずに追納しましょう。

学生納付特例制度の手続きについて

初めて学生納付特例の申請をする方は、年金事務所か市役所２番窓口に在学証明書または学生証の写しと印鑑を持参して手続きしてください。
平成22年度において学生納付特例制度により保険料納付を猶予されている方で、引き続き平成23年度も在学予定の方には、「国民年金保険料学生納付特例申請書」が送られます。申請書はハガキ形式になっており、必要事項を記入して返送されると、平成23年度の学生納付特例の申請をすることができます。なお、在学される学校などに変更がある場合は、改めて年金事務所か市役所窓口で手続きをしてください。

平成23年度国民年金保険料（月額）のお知らせ

平成23年度：15,020円（平成22年度：15,100円）

↓前納すると割引になります（平成23年度）

❶毎月振替（当月末の口座振替）	１年度分で600円割引
❷６カ月前納（現金納付）	１年度分で1,460円割引
❸６カ月前納（口座振替）	１年度分で2,040円割引
❹１年前納	１年度分で3,200円割引

保険料の支払いはお忘れなく

問市民環境課市民年金係　☎39－2301

国民年金・老齢基礎年金の裁定請求手続き

昭和21年４月生まれ(満65歳)の方は、誕生日の前日以降に手続きをしてください。厚生年金の受給者は、誕生月に送られてくるはがきが、基礎年金の手続きになります。
市役所②番窓口にお越しください。必要なものは印鑑・預金通帳・戸籍謄本・住民票謄本などです。

4月24日㊐は 富良野市議会議員選挙の投票日です

問選挙管理委員会 ☎39-2324

❑投票できる方

平成3年4月25日までに生まれた方で、本年1月16日までに住民基本台帳に登録されていて、4月16日まで引き続き市内に住所のある方が投票できます。ただし、投票日前日（4月23日）までにほかの市町村に転出した方は投票できません。

❑投票所入場券（兼宣誓書）

投票所入場券は、住民票に記載されている住所に郵送します。誤って配達された場合には、富良野市選挙管理委員会あての紙を付けて近くの郵便ポストへ投函してください。

投票所入場券は、忘れず持参してください。投票所入場券をなくした場合には、当日投票所の受付に申し出てください。

◆投票所入場券の発送予定日
4月13日頃

❑期日前投票

●期日前投票所

◆市役所（1階ロビー）
4月18日㊊～4月23日㊏
午前8時30分～午後8時

◆山部・東山支所
4月19日㊋～4月23日㊏
午前9時～午後5時

●期日前投票の方法

投票所入場券裏面の「**期日前投票宣誓書**」に必要事項を記入して期日前投票所へ早めにお越しください。印鑑は不要です。

❑不在者投票

●郵便による不在者投票

身体に障がいがあり、投票所に行けない方は、自宅などで投票用紙に記載し、郵送で投票することができます。

対象となるのは、身体障害者手帳、戦傷病者の手帳、または介護保険の被保険者証の交付を受けている方で、選挙管理委員会が発行した「郵便投票証明書」を持っている方です。郵便投票証明書の交付を新たに受けたい場合は、早めに選挙管理委員会に申請してください。

●指定施設での不在者投票

道の選挙管理委員会が指定した施設（**北の峰病院・ふらの西病院・協会病院・北の峯ハイツ・寿光園・老人保健施設ふらの**）の入院患者や入所者は、施設内で不在者投票ができます。

●他市町村に滞在中の方

滞在中の市町村選挙管理委員会で投票します。早めに選挙管理委員会に不在者投票申請用紙を請求してください。

●投票日当日までに満20歳になる方

●富良野市の不在者投票所
市役所選挙管理委員会事務室
4月18日㊊～4月23日㊏
午前8時30分～午後8時
※山部・東山支所では不在者投票はできません。

❑投票時間と投票所

午前7時～午後4時	八幡丘会館
午前7時～午後6時	御園会館・育良会館・布部会館・扇山公民会館・鳥沼会館・布礼別集落センター・麓郷集落センター・山部北星地区コミセン・山部南陽地区コミセン・東山支所・西達布集落センター・老節布会館
午前7時～午後8時	市役所・西地区コミセン・勤労青少年ホーム・東春地区コミセン・南コミセン・東部児童センター・北の峰コミセン・山部福祉センター

投票所入場券裏面の右側

宣誓書の書き方

本人の自筆です

あてはまるものに○を一つつけてください

期日前投票所に来る日を書いてください

期日前投票宣誓書　平成23年4月23日

フリガナ	つうノ　ハナコ
氏　名	富良野　花子
生年月日	平成元年1月1日
↓表面住所と違う場合のみ記入してください。	
住　所	

1～3号までの理由の該当する数字ひとつに○

1号	仕事等による場合
2号	旅行等による場合
3号	病気等による場合

私は、富良野市議会議員選挙の執行当日、上記の事由に該当する見込みです。上記の事実が相違ないことを誓い、併せて投票用紙の交付を請求します。

上富良野町

十勝岳温泉郷

十勝岳温泉郷で疲れを癒しませんか。一面の雪景色を堪能しながらの露天風呂は、最高です。ぜひ家族で十勝岳の大自然と温泉をご堪能ください。また、雪が降ることも考えられますので、運転には十分お気をつけください。

十勝岳温泉郷

白銀荘、カミホロ荘、凌雲閣、ヒュッテバーデンかみふらの

問産業振興課　☎45 - 6983

中富良野町

森林公園　5月1日オープン！

中富良野のシンボル、北星山にある森林公園。

園内には、フィールドアスレチックなどが設置されており、四季の変化に富んだ自然を身近に感じられる場として親しまれています。ご家族みなさんでお楽しみください。

問産業建設課　☎44 - 2123

237 広域タウン情報 花人街道

南富良野町

道の駅「南ふらの」でひと休み

地元産の食材を使用したメニューを味わうことができるレストランや町の特産品、お土産品などもあります。また、幻の淡水魚イトウを始めアメマス、ニジマスなどが水槽の中に見ることができます。快適なドライブの休憩にぜひお立ち寄りください。

問南富良野町振興公社　☎52 - 2100

占冠村

今年も鵡川でラフティング！

占冠村を流れる鵡川は、北海道でもトップクラスのエキサイティングリバー。落差が大きく川幅が狭いので、「このスリル感がたまらない」と毎年大人気！

自然に圧倒されながら下るツアーを、ぜひ体験してみてください。

問企画商工課　☎56 - 2124

緑町児童センター整備計画説明会

－学童保育施設の建設場所について－

施設の老朽化や定員の飽和などの課題から、市では、新たな児童センターの建設を計画しており、施設内容や建設場所について広く市民の意見を聴くため、説明会を開催します。

と　き　4月21日㈭
午後6時30分～
ところ　扇山小学校2階会議室
問こども未来課　☎39 - 2223

平成23年第1回富良野広域連合議会定例会

平成23年富良野広域連合議会第1回定例会が、2月24日・25日の2日間の日程で開催されました。本定例会では、広域連合の行政執行方針が広域連合長から示され、議案6件（予算2件、条例改正2件、規約変更2件）が原案通り可決されました。

25日には、酒井年夫議員（南富良野町）から「公共施設内牧場の職員体制について」、渡部洋己議員（上富良野町）から「消防行政について」、中村有秀議員（上富良野町）から「学校給食の運営について」広域連合長及び教育長に対し一般質問が行われ閉会しました。

可決された主な案件は、次のとおりです。

◆議案第2号　平成22年度富良野広域連合一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ34，904千円を減額

《主な歳入補正》

・市町村負担金
△47，922千円

・農林業使用料増（放牧料金収入）
2，247千円

・学校給食費収入減（富良野学校給食センター給食費収入等）
△2，042千円

・雑入増（高速道路救急業務支弁金、道消防職員派遣負担金等）
13，458千円

《主な歳出補正》

・一般管理費減（各種手当、併任職員人件費等負担金）
△2，557千円

・衛生センター管理費減（管理運営費、各種手当等）
△3，585千円

・畜産業費減（牧場管理運営費、各種手当等）
△4，182千円

・上富良野消防署費減（各種手当等）
△2，779千円

・中富良野支署費減（各種手当等）
△2，430千円

・南富良野支署費減（各種手当、研修負担金等）
△8，057千円

・占冠支署費減（各種手当等）
△2，059千円

・富良野消防団費減（警戒・災害出動費用弁償等）
△2，443千円

・富良野学校給食センター費減（賄材料費等）
△2，215千円

◆議案第3号　富良野広域連合議会議員及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

広域連合職員の安全と健康の確保について、労働安全衛生法に基づき、嘱託医の報酬と費用弁償を定めるための改正

◆議案第4号　富良野広域連合消防本部及び消防署等の設置等に関する条例

山部市街地において、住居表示（住所の変更）が実施されるため、富良野消防署山部出張所の位置を変更するための改正

◆議案第1号　平成23年度富良野広域連合一般会計予算概要←

（単位：千円）

歳入区分	歳入金額	歳出区分	歳出金額
分担金及び負担金	1,945,455	議会費	2,021
使用料及び手数料	47,718	総務費	59,956
財産収入	4,676	衛生費	200,971
寄附金	2	農林業費	82,604
繰越金	1	消防費	1,280,249
諸収入	283,315	教育費	446,290
連合債	51,800	公債費	257,876
		予備費	3,000
歳入合計	2,332,967	歳出合計	2,332,967

文芸　短歌・俳句

日を追ひて木の芽そろそろ尖り出す
上坂　睦美

難関を越えし笑顔に春の風
津山　洋子

耕して土の匂ひの髪ほどく
長畑　静香

春風にうもれし垣根顔を出し
青田　博子

ぬかるみや春三日月の和らかし
保田　貞子

三月のひかり廻してミシン踏む
岩田　美雪

きさらぎや裸木に咲いた幻想の花
しろじろと静寂の朝
町屋　和子

叱られてもおばあちゃんと呼ぶ愛らしさ健やかに育てと願うばかり
及川　洋子

ほのぬくき南の風がそよ吹くと
氷柱は銀のしずくをおとす
佐藤　輝夫

春近し日差し和らぎ花屋には
早も櫻の花の咲きおり
赤沼　ひさ

冬の陽をおごりのごとく浴びていぬ
灯油価格に一喜一憂
佐々木　緑

わたしの美術館

「火焔土器レプリカ」

藤本 智恵子 さん（北の峰）

川崎市に住んでいたころ、土器の文化に触れ、興味を持ちました。資料集を見て、自ら設計図を作り、製作しました。家族は、「これのどこが良いの？」と言いますが、私にとっては宝物です。

「わたしの美術館」では、みなさんの作品（絵・手芸・工作など）を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、たくさんの応募をお待ちしています。
応募、問い合わせは･･･企画振興課　☎39 - 2304

編集後記

■連日報道される東北地方の被災状況。家族や仲間、職場、住宅…多くを失った被災者の心中を思うと胸が詰まります。また、そんな中、復興に向け、必死に前を向く被災者や救援隊の姿に感動し、逆に力をいただいています。富良野から援助に向かった方々も予断を許さない中での作業、本当にお疲れ様でした。（し）

■このたびの大震災で被災されたみなさん、および関係者のみなさんに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

今月号から紙面をリニューアルしました。いかがでしょうか？みなさんの温かいご意見をお待ちしています。冷たいご意見もたまには…（う）

広報ふらの　平成23年４月号　No.595

発行/富良野市
編集/総務部企画振興課広聴広報係
〒076-8555 富良野市弥生町1番1号
TEL 39-2304　FAX 23-2121

富良野市ホームページ
http://www.city.furano.hokkaido.jp/

今月のラジオ広報　ラジオふらのFM77.1MHz

行政情報番組　ラジオ広報「ふらの」
毎週　月曜日～金曜日　午後６時～６時５分放送

まちづくり情報番組　元気ハツラツ！まちづくり
４月23日(土)　午前10時～10時45分放送

災害時には、市とラジオふらのとの協定により災害情報が流されます。

お知らせ版４月号は　４月14日(木)
広報ふらの５月号は　４月27日(水)　発行です。

広報ふらのは再生紙を使用しています